

松本糸魚川連絡道路 大町市街地区間 地区説明会 質疑応答要旨

令和7年12月16日(火) 18時30分～20時

場所: 借馬公民館、対象自治会: 借馬、西原

○質問1

今回の計画で、借馬と西原の間に盛土がされて、大きな壁ができる。立ち退きは少ないが、生活面での不便さや、騒音、景観の悪化など問題が大きいと考えている。借馬でふれあいパークを長年整備し大事にしてきたが、その上に松糸道路ができる。そもそも、オリンピック道路のすぐ近くにこの道が必要なのか。個人的にはこのルートである必要はないと思っており、見直してほしい。説明の中で地域の理解を得て次に進むという話があったが、地域の理解を得るとは具体的に何か教えてほしい。

●回答1(大町建設事務所)

今までの説明会において、今後のスケジュールについていつ頃事業化になるかといった話が出ていたため、今回の説明会では、地域の理解を得られてからではないと次のステップに入れないことを申し上げたところ。地域の状況も様々で、それぞれの声も上がっていることから、それを総合的に考慮し、全ての説明会が終わった段階で市役所とも相談しながら考えていきたいと思っている。

○質問2

今まで大原町、宮田町の自治会から、見直しの要望が出ているが、県や市はどのように配慮しているのか。

●回答2-1(大町市)

松糸道路については、かなり昔からの構想で、様々な社会情勢の変化の中でも必要な道路として、県に動いていただいて現在に至っている。市としては、少子高齢化が進んでいるなかで、消滅可能性都市といわれている大町市をいかにして、持続可能な市にしていくか、様々な議論が議会の中でもされている。その中で、松糸道路は必要という判断がされており、地域の皆さんの生活環境も変わってくるが、是非とも協力をいただきたいというお願いになる。まずは、ルート線の設計が終わったということで、説明に伺い各自治会からも様々な意見いただいている。すべての意見に対応できるわけではなく、反対の意見もあるが、市としては、この道路をどうしても作りたいという思いがあるので、理解いただきながら、その事業を進めたいということである。そのような答えになるがご理解をお願いしたい。

●回答2-2(大町建設事務所)

反対のご意見、見直しを求める嘆願書が提出されていることは承知しており、重く受け止めている。今回の説明会は、具体的なルート線を地元の皆さんに示し、さらに環境や景観についての意見を伺っていくことを目的としている。

○質問3(意見のみ)

大町市は消滅可能性都市といわれており、自治会から見直してほしいという要望が出ている状況

で、その点を配慮せずに進めることは地域の特性を殺しており、時代に逆行しているのではないか。県や市は進めなければならない立場なので、心苦しいとは思いますが、何を持って理解とするかということ示してほしい。借馬に來たのは 10 年程前であり、凄いいところで景観も良いし、暮らしやすいところだと思っている。西原に住んでいるみんなもきっとそうだと思う。本当に松糸道路が必要で、この道路ができればこの地区が発展すると思うか。各自治会でも松糸道路について考える機会が必要ではないかと感じている。

○質問4

道路とはネットワークづくりであり、東名高速、中央道、北陸道のような高速道路の大動脈があって、そこを繋ぐ長野道や東海北陸道、中部横断道という静脈ができて、さらに毛細血管としての道路が整備されていく必要がある。松本市では中部縦貫道路などの建設が進んでいる。景観への影響はあるが、今までも松本や安曇野の高速道路で反対運動があった覚えはない。なぜここまで盛土に反対されるかわからない。許容できる範囲だと思う。松糸道路は次の世代に残さなければならない、人口が減っても、最低限必要な道だと思う。県や市は粛々と進めていただきたい。

●回答4(大町建設事務所)

ご意見も踏まえて、地域の理解が得られるように進めていきたい。

○質問5

西原に住んで 10 数年住んでおり、金山神社の近くに住み、近くを散歩するので分断されることが残念である。木崎湖以北は一般道となり現道活用になるということだが、高速ネットワークとは話が違うと思う。もし道路を作るのなら、中途半端な道路ではなく、糸魚川まで 1 時間で行けるような道路を作してほしい。具体的に経済効果とか言っているが、これから人口が減っていく中でこの道路が本当に効果的なのかどうか疑問に思うため、実際のところを教えてほしい。

●回答5(大町建設事務所)

H20 に松糸道路の全体計画を示し、大町市街地区間についてはバイパス案も含めて検討し、令和6年1月にCルート帯に決定した。木崎湖以北については現道に信号が2つだけで、走行速度も概ね 60km/h に近い速度で走行できる区間であるが、カーブや勾配の改良をしながら、地域高規格道路に適した構造に改良していきたい。

○質問6

この道路は概ね 60km/h というが、100km/h で走る車もいるのではないのか。その状況で木崎湖トンネルに走ったら、先に信号があるため危ないのではないのか。

●回答6(大町建設事務所)

制限速度が何 km/h となるか未定だが、60km/h での走行を想定した道路構造で設計しており、今後も速度に応じた安全な道路となるように設計を進める。

○質問7

片側1車線であるが、高速道路の2車線と勘違いする人への対策はどうするのか。

●回答7(大町建設事務所)

今回はまずルート線を示したもので、具体的な安全対策については今後検討していく。

○質問8

騒音が大きくなる場合、防音壁を設置する箇所も出てくると思うが、そうすると更に景観が悪くなることも考えられるが、どうするのか。

●回答8(大町建設事務所)

今回は 6m の盛土の場合の騒音予測を行っているが、事業の実施段階において、側道の計画も固まった段階で、道路の事業用地に掛からずに盛土や側道が近接して住宅が残る方については、具体的な箇所で騒音予測調査を実施し、防音壁等の対策を検討していきたい。

○質問9

松糸道路は必要だと思うが、景観も大事だと思う。高速道路の側道では金網があつて草が繁茂して印象が悪いところもある。3次元モデルにはなかったが、金網の設置や盛土法面の手入れなど、盛土法面の景観について計画はあるのか。金網は設置するのか。

●回答9-1(大町建設事務所)

松糸道路については、長野県が計画、工事、管理していく道路になる。既存の県道でも管理が至らない点もあるが、地域の皆さまと協力しながら管理を進めていければと考えている。高速道路は人の立ち入りを禁じているためフェンスが設置されている。松糸道路は歩道がなく、設置の有無は未定であるが、事業実施段階でこれらの検討を進めていきたい。

●回答9-2(大町市)

現時点では概ねのルートと構造を示したところ。横断部分をどこにするのか、側道をつけるのか、接続する市道をつけるのかは今後の検討であり、交通安全対策については全国の地域高規格道路の事例などを踏まえて皆さんのご意見をいただきながら、一緒に検討を進めていきたい。

○質問 10

ルートに関して、個人的には A ルートが良かったと思っていたが、C ルートと決まった以上はどんどん事業を進めていただきたい。順調に進んだ場合、最短で用地買収に入るのはいつ頃になるのか。南側から順次進めていくか、それとも同時進行で進めていくのか。

●回答 10(大町建設事務所)

最短でいつ頃用地取得の手続きに入るのか現時点では具体的には示せない。用地取得がある程度進んだところで工事に入りたいと考えている。進め方についてもそれぞれ事情があると思うので、皆さんの意見も踏まえて進めていきたい。